

# 各常任委員会審査・調査報告

総務常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市生活交通バス条例の一部を改正する条例

**問** 循環バスへの補助額について説明願います。

**答** 当初予算は乗車人員7名で積算し1426万9000円を計上したが、実績は見込みより減少し、運行経費も増額したことから最終的に1626万3000円の補助となりました。

**問** 約1600万円を補助するのであれば運賃の無料化や軽減を行い、利用者の拡大や交通弱者の救済を図ってはどうか。

**答** 既存バス利用者の負担の公平性を考慮し検討をしております。

**問** 中心市街地は循環バスでよいが各地域と市街地を結ぶ路線はデマンド交通を検討してはどうか。

**答** 地域の公平性や費用対効果を総合的に見直す時期に来ています。新年度に国の補助

金を活用し、デマンド交通も視野に入れた公共交通のあり方を検討してまいります。

**問** 循環バスの運行に指定管理者は考えているか。

**答** 指定管理者の検討はしていませんが、現在の運行欠損額の補助を見直し、今年10月1日以降は運行経費にかかる入札方式に変え経費の削減を図ります。

**問** 使用料の免除で身体に障がいのある方の介護のために乗車する場合、2人の付き添いもあるのではないか。

**答** 原則は1人ですが、特殊な状況であれば申請時の申し出において検討します。

## 平成21年度土地造成事業特別会計予算

**問** 分譲価格の引き下げにより、既に取得した住民への売却価格の差額補填はあるのか。また、どのように周知し、理解を得ようとするのか。

**答** 差額補填の考えはありません。田園町府ニュータウン及び第2白鳥ニュータウンに

おいて、それぞれ2回、既取得者への説明会を実施しました。また、建築をしていない土地所有者を含めて全員に案内しており、今後も理解を得る努力をしてまいります。

**問** 各基金への償還計画について説明をお願いします。

**答** 地域振興基金は平成22年度から25年度までの4年で1億6000万円、土地開発基金は平成21年度から25年度の5年で1億1000万円、愛の基金は平成21年度から23年度の3年で7650万円、複合文化施設建設基金は平成22年度から24年度の3年で6000万円となっています。

## 平成20年度一般会計補正予算

**問** 市民協働推進事業補助金の交付団体の説明をお願いします。

**答** 子育てサポート表郷、びやっこい村手づくり絵本実行委員会、表郷ボランティア交流フェスティバル実行委員会、柿の木文庫、白河料飲マップ会、母子支援室まごころ、白河市民活動支援会の7団体です。

## 平成21年度一般会計予算

**問** 職員採用・研修関係経費での、国土交通省1名、横浜市1名の派遣される選考基準について説明をお願いします。

**答** 部門、技術系・事務系を問わず中堅職員から人選したが、横浜市は公募しました。

**問** 群馬県太田市では先に面接を行い選別し、その後に教養試験を行い、能力の高い人を選んでいるが、市の考えを尋ねます。

**答** 人物本位の面接を重視しており、人事院の手法も取り入れていますが、今後研究してまいります。

**問** 財産一般管理費の車両購入費における中古車購入について説明をお願いします。

**答** 少ない経費で共有車の拡大を進めるための試験的なものであります。

**問** 秘書一般管理費の旅費が前年度より増額している理由について説明をお願いします。

**答** 市長のトップセールスのための旅費で、実績として企業誘致では平成20年度の操業開始が8社、新規誘致企業が

2社、国・県の補助金交付関係ではスマートフォン・チェンジに、地方道路整備臨時交付金で3億5400万円、図書館建設では、地域防災施設と位置付けることにより、1億160万円が追加交付されました。

本年も企業訪問、国・県の情報収集や要望活動などトップセールスをするために増額したものです。

**問** 地域づくり活性化支援事業の今年度計画について説明をお願いします。

**答** 新年度は、各地域100万円としました。4月から募集を開始し、5月末を目途に申請受付、その後各地域協議会で審査するものです。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



市民協働推進事業補助金交付団体「子育てサポート表郷」活動風景

# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## 平成20年度国民健康保険特別会計補正予算

5218万5000円の減額補正であり、減額の理由は一般被保険者療養給付費、後期高齢者支援金、介護給付費納付金などの財源補正です。

## 平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算

4228万4000円の減額補正であり、一般管理費の財源補正や後期高齢者医療広域連合納付金の減額によるものです。

## 平成20年度老人保健特別会計補正予算

国、県の負担金が全額交付されないため、不足分を一般会計から繰り入れて、市が立て替えておく仕組みです。

立て替え分は、最終的には精算され、平成21年度歳入予算の過年度分として計上されます。

## 平成20年度地方卸売市場特別会計補正予算

市場管理運営費119万4000円の減額補正です。

## 白河市手数料条例の一部を改正する条例

平成21年4月1日から、満65歳以上の方が運転免許証を返納した場合、住民基本台帳カードの交付申請は無料となります。なお、4月1日以前に返納された方にあっても同様となります。

## 白河市国民健康保険条例の一部を改正する条例

小学校3年生までの入院の場合に限り、当該療養の給付に関し一部負担金を平成21年7月1日から無料とします。

## 平成21年度国民健康保険特別会計予算

62億893万4000円の予算となります。

歳出抑制のために、高齢者学級の充実など有効な施策があると思えます。

今年度から、40歳から74歳の国保加入者に特定検診を実施し、生活改善が必要な方には保健師からお話しして

ます。

基金積立額の見通しについて

現在約1億7000万円ありますが、基金額を確保し国保会計の安定化を図ります。

## 平成20年度一般会計補正予算

土地利用型作物自給率向上緊急対策事業や低コスト・省力化米づくり促進事業補助金の減額理由について

前者は、2ヘクタール以上の団地形成要件が加わったため、後者は、対象面積が6ヘクタール以上に変更となったためです。

県営土地改良事業負担金の減額内容について

県事業費予算の変更に伴い、白坂皮籠地区、表郷金山地区、五箇堰地区合計で647万円の減額となりました。

## 平成21年度一般会計予算

国民年金事務費交付金の内容について

国民年金にかかわる主な事務内容は、資格の得喪や保険料の免除などの申請受付や相談窓口としての事務です。

斎場運営費負担金の内容について

施設利用協定により、西郷村の負担金があり、負担割合は10月1日現在の人口で計算し、約24%を西郷村が負担しています。

無料法律相談の実施内容について

本庁と庁舎で毎月行っており、債務に関する相談が多く、毎回予約でいっぱいですが、他には、社会福祉協議会が実施している無料法律相談や、行政書士会が実施している無料相談があります。今後は、本庁の相談回数を年12回から24回に増やし、さらに他の団体と協力して毎週水曜日を相談日として定着させていきます。

元気集落等応援事業について

今年度で2年目の事業で小規模経営では成り立たない農業経営をどのようにしていくか、地域内の土地や機械の賃借、担い手の育成等について、地域で考えるための先進地研修費やコーディネーター謝礼等の補助です。

プレミアム付商品券の内容

について

プレミアム分を市が補助し、500円の商品券22枚を1セット1万円で販売し、市民は個人法人を問わず、一人5セットまで購入できます。

販売は、定額給付金の給付以前を予定しています。商工会議所と商工会連絡協議会で協議しており、地元消費拡大から地域の活性化を図ることが目的です。

県補助のふるさと雇用再生特別基金事業と緊急雇用創出事業について

前者は原則1年で36名、後者は6ヶ月未満雇用で52名です。新規就農者支援業務委託や米粉利用推進業務委託については、ふるさと雇用再生特別基金事業による雇用は3年ですが、新たな商品開発やPRを考えており、3年で終わりはありません。3年経過後は、市単独で実施すること等について検討します。

白河ブランド確率・販売促進業務委託については、既存のブランド化協議会が受託可能か検討してまいります。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

# 教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

白河市関川窪15番地3に「ここにこ児童クラブ」を新たに開設するための改正です。

## ◆白河市小学生医療費の助成に関する条例

小学校1年生から3年生までの児童の入院医療費にかかる自己負担分を助成するものです。

**問** 助成の具体的方法は、どうなるのか。

**答** 受給資格者証を提示することにより、窓口での自己負担金の支払いが無いようにしたい。ただ、県外等の入院の場合は、償還払いもあります。

## ◆白河市介護保険条例の一部を改正する条例

平成21年度から23年度までの第1号被保険者にかかる保険料率の改定及び区分の変更を行い、各年度における保険料率の特例を設けるほか、所要の改正をするものです。

**問** 保険料設定の根拠となる介護給付費見込額は、どのように算定したのか。

**答** 高齢者人口や介護認定率、利用率の伸びによる自然増及び施設整備費見込み等を勘案して見込んだものです。

**問** 保険料は、介護給付費準備基金を全額投入して、もつと下げるべきと考えるが。

**答** 基金2億円を取り崩し市民の負担軽減に努力しました。残る2000万円は財政運営上、必要と考え、残すものです。



白河市表郷クリニック

## ◆白河市表郷クリニックの指定管理者の指定について

平成21年度から23年度まで指定管理者として(医)育慈会理事長 岩科弘純氏を指定するものです。

**問** 指定管理者候補者に対しては、どのような評価を行って指定するのか。

**答** 指定管理者候補者審査会で、事業計画書、収支予算書、

経営状況説明書を審査し、妥当と認め指定したものです。

**問** 委託料の内容は、表郷クリニック開設時に、先行投資で購入した医療機器の賃借料相当額であり、平成23年度には支払いが完了します。

## 平成21年度教育財産特別会計予算

**問** 山林下刈り委託料のほかに賃金が計上されているが、これは何か。

**答** 教育財産は白坂地区の学枝林で、山林下刈りは白五小と南中の保護者に委託しており、木の枝が民有地に出ているため、その剪定のために必要な賃金です。

## 平成21年度介護保険特別会計予算

**問** 介護予防特定高齢者施策の委託先はどこか。

**答** 昨年同様、新白河中央病院を考えています。

**問** 配食サービス事業の委託先はどこか。

**答** 各地域の弁当店などに委託しています。しかし、利用者の自己負担額が増えたため減少傾向にあります。

## 平成20年度一般会計補正予算

### ●保健福祉部●

**問** 保健福祉部で行う緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別基金事業は、緊急的な業務なのか、継続を含めた事業なのか。

**答** 両面性があります。継続については、財源や事業の到達度あるいは必要性を見極め、検討し判断していきます。

**問** こんには赤ちゃん事業費が減少したのはなぜか。

**答** 臨時職員を雇用し業務を行いました。平成21年度は子育て支援を最重要業務ととらえ、保健師がすべて対応することにしたためです。

### ●教育委員会●

**問** 次世代育成支援行動計画策定委託とは何か。

**答** 保育園、児童クラブ等で実施したアンケート調査を基に、平成22年度から5年間の事業計画を策定するため委託するものです。

**問** IT授業支援業務委託は、委託業者に求職者を雇用するよう徹底されたい。

**答** ふるさと雇用事業の要件

となっているので、そのようにしたい。なお、勤務は年間一校当たり33日、週1回4時間の予定です。

**問** 私立幼稚園振興助成費の増加理由は。

**答** 私立幼稚園協会からの要望と県内各市の状況等を勘案した結果です。

**問** 保育園給食業務委託は、何をどこに委託しているのか。

**答** 平成20年度はメフォスに調理の業務委託をしました。

**問** 宝酒造跡地の発掘調査は、開発業者が行うべきものとして理解しているか。

**答** 試掘調査であり、文化財を保存するために必要なデータをとり、行政が負担して行うものです。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



ここにこ児童クラブ (関川窪地内)

# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆水道事業給水条例の一部を改正する条例について

**問** 年間5万円以上の増額が見込まれるアパートについては、どのように対応するのか。

**答** 受水槽を持つアパートの場合には、メーターが1個しかないため、大家に請求し、大家が各戸から料金を徴収するものと思われま。その場合、各戸の負担増が予想されますが、今回の料金統一にあたっては、「激変緩和措置」を講じて実施するということでの理解を得たいと考えております。



白河中央インターチェンジ南線

## ◆白河中央インターチェンジ南線道路改良工事請負契約の一部変更について

**問** 事前の地質調査について

**答** ボーリング調査により岩盤線を推定しましたが、実際の岩盤線と大きな差があり、変化に富んだ地形が影響したものであります。

## 平成21年度公共下水道事業特別会計予算

**問** 公共下水道の接続率向上のための今後の方策について

**答** 平成20年度は、約400件の個別訪問を実施しましたが、高齢者世帯や低所得者世帯の接続率が低く、まちなかの接続率も良くありません。今後個別訪問の実施や広報などを活用し助成制度の利用を呼びかけながら、接続率向上に努めていきます。

## 平成21年度個別排水処理事業特別会計予算

**問** 個別排水処理事業は、市内全域で実施できないか。

**答** 現段階では東地域のみと定められています。現在、福島県全域下水道化構想の見直しが行われており、公共下

水道や農業集落排水の計画がない地域は可能とのことであり、将来は市内全域に広めたいと考えています。

## 平成21年度簡易水道事業特別会計予算

**問** 簡易水道と上水道の統合について

**答** 平成21年度中に申請し、28年度までの統合を予定しています。国は、1自治体1水道を目指しており、統合の申請をすることにより、統合までは、国庫補助を受けることができますので、そのメリットを生かして整備を進めてまいります。

## 平成21年度水道事業会計予算

**問** 水道メーター検針の2ヶ月検針から、毎月検針への検討について

**答** 現在は、経費削減のため2ヶ月に1度実施しています。検針費用や諸経費を含めると年間1360万円かかり、毎月検針の場合これらの経費が約2倍になるほか、プログラムの変更やランニングコスト等を含め約2900万円との

試算が出ています。また、東北電力とのメーター検針協力については、調査してまいります。

## 平成20年度一般会計補正予算

**問** 道路維持管理費中の用地購入費について

**答** 平成18年度から20年度の3年間、みなし道路のセットバックに係る用地購入費用で、基金を利用したものであります。なお、21年度は一般会計での対応を予定しています。

## 平成21年度一般会計予算

**問** 木造住宅耐震診断について

**答** 費用は、1戸当たり約12万円で、診断は県の講習会を受け登録した1級建築士事務所が行います。

**問** 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業について

**答** 橋りょうの専門コンサルタント等に委託し、平成21年度橋長15m以上の127橋の目視点検を実施し、22年度に計画を策定します。その後15m未満の285橋の点検を考えていきます。この事業は、全国的に多くの橋が同時期に作られた

ことから、今後一気に架け替えが必要となることが予想されるため、早い段階での点検・修繕を行い橋の寿命を延ばしながら、計画的に架け替えを実施するものであり、計画策定により国からの補助が期待できます。

**問** 道路維持工事を実施する際の優先順位について

**答** 現在、生活に身近な道路に対する要望が多数ありますが、まずは、現地を確認し、危険度・緊急性の高い道路から順に、予算の範囲内で地域のバランスにも配慮しながら対応してまいります。

**問** 将来の景観行政の進め方について

**答** 4月1日以降、本市が景観行政団体に移行するため、景観係を設置します。景観に配慮したまちづくりを進めるため、平成9年に制定した都市景観条例の改正も視野に入れ、市民協働を進めてまいります。また、市街地ばかりでなく市内全域の農地や山林の保全にも結びつけていくのが景観行政であると考えております。付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。